

こころの健康に関する新たな支援 「フィンランドからの贈り物～オープンダイアログ」

世界中で、薬物治療だけに依存しない新たなアプローチ手法として、注目されているオープンダイアログは、1980年代からフィンランドの西ラップランド地方にあるケロプダス病院を中心に実践されてきました。本人、家族、関係者、看護師、医師などが対等な立場で開かれた対話を行い、「本人がいない時に物事を決めない」ということを重要な約束事として行う手法です。

今回は、オープンダイアログのアプローチ手法を応用して、地域生活を送っている個人宅へ訪問し、日々支援を行っている訪問看護ステーションKAZOCの三ツ井直子氏、久保田健司氏にお話をさせていただきます。



◆日時：平成30年 **10月25日(木)**

開場 午後1時30分

開会 午後2時00分～4時00分

◆場所：調布市こころの健康支援センター2階 **こかげ**

◆講師：**訪問看護ステーションKAZOC**

三ツ井 直子氏 久保田 健司氏



◆定員：**80名**（申込順） **参加費無料**

◆申込 電話：042-490-8166

FAX：042-490-8167



講師紹介

三ツ井 直子氏

東京都練馬区大泉にある訪問看護ステーション KAZOC で訪問看護師として勤務。
オープンダイアログネットワークジャパン運営委員

久保田 健司氏

米国心理学修士。訪問看護ステーション KAZOC や、ゆうりんクリニックで心理士として勤務し、
オープンダイアログアプローチの実践に関わる。



<会場交通アクセス>

〒182-0024

東京都調布市布田 5-46-1 調布市こころの健康支援センター



京王線 調布駅

中央改札中央口より

徒歩12分

京王相模原線 京王多摩川駅

徒歩8分

<問い合わせ先>

調布市こころの健康支援センター

Tel 042-490-8166 (月～土8:30～17:30)

Fax 042-490-8167

HPアドレス <http://kokoro.chofu-city.or.jp/>